

ともに生きる

No.37

平成31年3月発行

ご挨拶



春の便りが聞かれ始めるこの季節、平成30年度も終わりに近づいてきました。後援会会員の皆様には、日頃より後援会の活動に、多大なご理解・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

今年度も、国家試験対策などの教育事業補助、学生課外活動補助や安否確認システムの導入による防災関連補助活動など支援を実施させていただきました。

昨今、日本における少子高齢化による介護の在り方や待機児童など様々な問題が多く取り上げられている中、神戸医療福祉大学で学ぶ多くの学生は、これらの分野で活躍を夢見て日々勉学に励んでいます。また、地域活動においては、様々なボランティア活動に積極的に参加し、社会人として地域との繋がりや人との関わり合いの大切さを学んでおり、福崎町の初代ふくさき観光大使に任命された学生が在学していることなどは、地域密着型の都会にはない学生一人ひとりの顔が見える教育に大きな安心を感じています。

これから社会は、高齢化が急速に加速していき、社会構造の変化や地域社会の崩壊など、様々な問題に直面することになる時代ではありますが、労働力不足などからの社会を支える子供たちを保護者として最大限支援していきたいと考えております。今後も教職員の先生方や地域関係者の方々に協力を頂きながら後援会の活動を推進していくので、会員各位皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、これから皆さんには輝かしい未来が待っています。本学で学んだ知識や経験を惜しみなく發揮され、人生を切り開き、変えていって頂きたいと願っております。在校生の皆さんにおかれましても、4月に新入生を迎える、学業や課外活動・地域活動の見本となりよき先輩として成長されることを期待しております。

最後になりますが、平成30年度後援会活動へのご協力に感謝申し上げるとともに、新年度も神戸医療福祉大学及び後援会活動が地域連携を深めながら更なる発展を祈念しご挨拶とさせていただきます。



後援会会長
西安 隆行



平成30年度 第1回 役員会

目次

・会長挨拶	1
・大学代表挨拶（学長）	2
・大阪天王寺キャンパス	3
・キャリアサポート部からのお知らせ	4
・スポーツの魅力、楽しさを伝えるために	5
・球技大会、留学生交流会、国家試験	6
・姫路キャンパス 学友会 リーダーズ研修会・こうふくフェスタ 播彩祭	7
・大阪天王寺キャンパス 学友会活動・学園祭	8・9
・実習体験記	10
・就職活動を振り返って	10・11
・初代ふくさき観光大使、市川町ゴルフ大使	
・後援会総会のお知らせ・アルバム委員会からのお知らせ	12



ご挨拶

保護者の皆様へ

神戸医療福祉大学
学長 都築 明寿香

神戸医療福祉大学後援会の皆様には、日頃から本学の教育・課外活動および福利厚生事業にご理解とご支援を頂き、心より感謝を申し上げます。

神戸医療福祉大学は2000年に福祉系大学として開学致しました。以降「福祉未来の創造」という理念に向かって歩み続け、福祉と健康増進の基となる3学科を有する医療福祉大学となりました。平成31年3月現在では21世紀に産声を上げた学生も多く在籍しています。

神戸医療福祉大学の学則第一条では、本学の目指すところを「日本国憲法、教育基本法及び学校教育法に従い、広く知識を授けるとともに、建学の精神である『個性の伸展による人生練磨』に則り、人と環境に優しい福祉の心をもった人材を国際色豊かに育むことを目的とする」と定めています。2019年1月、教育公務員特定法の一部を改正する法律及び教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、免許状の所要資格を得させるための過程として認定を受けている教職課程が平成31年4月1日以降も引き続き教職課程を有するための認定（再課程認定）を本学が受けました。今後も専門的力量を備えた有能な支援者・教育者を育てるための教育環境の整備に努めて参ります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、日本国内ではこれからさまざまな文化プログラム、教育プログラムが展開されることが予想されます。神戸医療福祉大学はこれまで大阪キャンパスで主に進めてきたグローバルな人材育成を全学レベルに展開することを目指し、教育体制作りを積極的に進めていこうと考えています。

未来を担う人材として、皆様のご子息が成長されんことを祈念致しております。



八尾市と姫路市の意外な共通点

大阪天王寺キャンパス長
拾井 雅人



私事で恐縮ですが、私の第二の故郷ともいえる八尾市の話を少し聞いてください。八尾市は大阪市の東南側に位置し、市の東部にある生駒山系で奈良県と接しています。

ところで、みなさんは八尾市と聞いて何を連想されますか。大阪の人なら河内音頭かもしれませんね。市のホームページでは「河内音頭のふるさと」と謳っていますし、河内音頭の有名な音頭取りである河内屋菊水丸さんは八尾市出身です。ご年輩の方の中には、『朝吉』という名前を頭に浮かべた方も多いのではないでしょうか。朝吉は今東光さんの小説『悪名』の主人公です。シリーズ化された映画では勝新太郎さんが演じていました。

でも、河内音頭も朝吉も外国の方には馴染みはないかもしれませんね。大阪天王寺キャンパスでも、留学生から「先生の家はどこ?」と聞かれて「八尾だよ。」と答えるも、返ってくる反応は「えっ、どこ?」とか「知らない。」とか…。ただ、ベトナム人留学生の反応は違います。「ベトナム人、いっぱい住んでいますよね。」みたいな…。

実は、八尾市のベトナム人の歴史はベトナム戦争にまで遡ります。この戦争で難民となった方々は日本にたどり着いた後、定住促進センター（西日本では姫路市）に入所しました。一方、八尾市には難民の方々を雇いたいという工場が多数ありました。そこで、八尾市は市内にある3つの雇用促進住宅に、センターを出た難民の方々を受け入れることにしました。今から40年近く前のことです。こうした企業や行政の取り組みと難民の方々の努力もあって、八尾市に定住する難民やその家族・親戚の方々は次第に増えていきました。きっと「住みやすいまちだ、暮らしやすいまちだ。」と思って頂けたんだろうと勝手に推測しています。現在、市内には約1250人のベトナムの方々が暮らしています。人口1万人に占めるベトナム人の数は46.5人で、大阪府下の市町村ではダントツの1位です。

さて、国は昨年12月に入管法を改正し、新たに特定技能1号・2号という在留資格を創設しました。今後5年間で、労働の担い手として約30万人の方々が来日する予定とのこと。もちろんこれらの方々は難民の方々とはさまざまな面で異なりますが、企業をはじめ行政や人々（日本人と外国人）が力を合わせることで、一人でも多くの方に日本を好きになって頂き、定住して頂ければうれしいなと思っています。

最後に、定住促進センターのあった姫路市では人口1万人に対して何人のベトナム人の方が暮らしているのか、ご存知ですか。答えは、八尾市を上回る53.0人です。脱帽!





知りたい就活事情

キャリアサポート部長
田島 栄文

●今どきの就活について

2020年卒の就活スケジュールは昨年同様に、3月に企業エントリーが始まります。

保護者の皆様には、卒業予定学生の親世代が経験した「就職活動」と今の「就活」は、世の中の状況も就活のやり方も全く違うことを知ってほしいと思います。時はバブル景気直前からバブル全盛の時代。好景気の中、どの企業も多くの学生を採用しようと奪い合う「売り手市場」でした。しかも当時の大学生は「エリート」。大学さえ出ればどこかには就職でき、しかも正社員が当たり前でした。ところが、今の日本に「大学生」というブランドは存在せず、少子化が進む一方で大学は増え続け、いまや2人に1人超が大学生。選り好みさえしなければ誰でも大学生になれる「大学全入時代」です。バブルのころ37万人ほどだった大学卒業生の数はいま毎年56万人前後。ざっと1.5倍に増えました。そして2000年代以降、雇用にかかる規制緩和が進み、企業は契約社員や派遣社員といった非正社員を増やしてきました。「大学を出ればみんな正社員」は昔のことになり、正社員になることが簡単ではない時代です。

バブル前後の時代と今のもっとも大きな違いの一つが、インターネットの存在です。1990年代以降ネットが普及し、就職情報誌に代わって就職情報サイト（就活ナビ）が必須のツールになりました。ネットでは誰もが同じ情報を見ることができるために、公平・平等です。企業への応募も、ハガキからWEB上で個人情報を登録する方法（プレエントリー）に変わりました。同じころに広まったのがエントリーシート（ES）です。市販の規定の用紙に経歴と簡単な志望動機などを書く履歴書に対し、志望動機や自己PR、学生時代に力を入れたことなど各社が独自に設けた設問に答えるのがESの特徴です。項目数が多いうえ、一つの設問に200字から400字も書かなければならないので大変です。項目ごとに800字、1000字と作文並みに書かせる企業もあります。プレエントリーのあとESを提出して正式な「本エントリー」となります。このESを1人何十通も出すのが今の就活です。誰でも応募はできますが、いいかげんなESでは面接に進むことすらできません。

一方で、多くの学生が応募してくると面接できる人数には限りがありますから、ESによる書類選考とSPIなどの適性検査でばっさりと落とす企業が多くなりました。

そして、良い学生に早く接触しようと3年生の夏から冬にかけインターンシップ（就業体験）を実施する企業が急増しています。最近は福祉業界も積極的に取り入れています。

●進む二極化…頑張れ就活学生!

早めに就活を意識してインターンシップに参加したり自己分析や業界研究を始める学生と、「売り手市場だし、何とかなる」と油断し、「企業研究が浅い」「自己分析が出来ていない」と担当者を嘆かせ、準備不足でいきなり本番に突入し、何社受けても内定をもらえない学生、といった「二極化」が進んでいると言われます。

「行けるところに行く」のではなく「自分が行きたいところに行く」ためには、志望動機や自己PR、学生時代に力を入れたことなど自己分析にしっかりと取り組む。業界のインターンも活用する。キャリアサポート部の資格取得支援講座を受講する。キャリアサポート部に並んでいるキャリア支援に関する多くの図書も様々な講座も、本学後援会のご支援をいただいている。大いにご活用下さい!!保護者の皆様方とともに教職員一同もサポートしていきたいと思います。

●キャリアサポート部からのお知らせ

3月の成績等送付の際、新年度の学外実習及び実習経費のご連絡、資格取得支援講座の概要のお知らせも同封します。ご一読下さい。また、新年度オリエンテーション期間の4月5日(金)は、新4年生に「学内就職フェア」を計画しています。リクルートスーツ等の準備が必要です。就活のためにもこの春休みの内にご準備よろしくお願い申し上げます。

スポーツの魅力、楽しさを伝えるために

健康スポーツコミュニケーション学科
学科長 中山 忠彦



まずは 2018 年のスポーツトピックを振り返ってみます。平昌五輪では、男子フィギュアスケートの羽生選手が二連覇、初出場の宇野選手も銀メダル、スピードスケート女子では 500m で小平選手が金メダル、高木姉妹が個人で計 5 つのメダル、団体追い抜きで金メダル、女子カーリングチームは初のメダルを獲得するなど感動の大会になりました。サッカーロシアワールドカップの日本は決勝トーナメントに進み、残念ながらベルギーに敗退したものの、日本の大健闘は世界から賛辞を受けました。ほかにも、米大リーグで大谷選手が投手と野手の二刀流の活躍、大坂選手がテニス 4 大大会で日本選手初のシングルス優勝するなど、スポーツを観るものを興奮させ、感動させてくれたスポーツイヤーであったように思います。

また、本学関連のスポーツトピックとしては、男子バスケットボール部が 3 部リーグ全勝優勝で 2 部リーグに昇格決定、さらに、学園グループ校である福岡第一高校男子バスケットボールが 2018 年ウインターカップにおいて日本一となるなど、われわれ教職員も学生スポーツでおおいに元気づけられました。

このようにスポーツはなぜ人を惹きつけ感動させるのでしょうか? 試合のドラマ的な展開による勝利は観る人の心を震わせ感動させます。しかし、勝利だけで人はこんなにもスポーツに惹きつけられるでしょうか。スポーツには結果の不確実性(試合の結果が予測できない)があります。勝利に向かって懸命に頑張る姿やそれを可能にする選手の人間的な魅力があってこそ、人々はスポーツに一生懸命打ち込む選手の姿に魅了され、勇気づけられ、共感するのだと思います。

一方、2018 年は輝かしいスポーツイヤーであった反面、スポーツの負の面もクローズアップされました。名門大学アメフト部の悪質タックルの問題、様々な競技種目のパワハラ、暴力問題など相次ぐスポーツ界の不祥事に胸を痛めました。スポーツ指導者は高圧的で暴力的な指導の限界を知るべきで、トップダウンの指導法からスポーツ科学の理論に基づいた指導の重要性と効果から正しくスポーツを伝えることができるよう改めなければなりません。

スポーツの原点は「遊び」、「遊び」は楽しい、「楽しい」から続きます。押しつけや命令では続かず、自ら考え工夫するから上手になります。健康スポーツコミュニケーション学科では、このようなスポーツの楽しさや魅力をあらゆる人に伝えることのできるスポーツ指導者を育成するという人材育成の目的を持って教育を行っています。このようなスポーツ指導者に求められるのは、人のために、利他の精神を持って生きることができるかということだと考えています。この「人のために、利他の精神」はまさしく福祉マインドであり、現代に求められるスポーツ指導者に必要不可欠な要素だと思います。

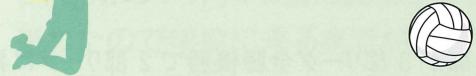
学科では今年度で 8 年目となる地域連携事業として地元福崎町の児童や親子を対象に運動教室を開催し、学科教員がメイン指導者、学生がサポート指導者となって取り組んでいます。子どもたちにとってスポーツとの素晴らしい出会いであるよう福祉マインドを持った指導を心掛けています。このような取り組みを通して学生が将来、人を大切に想い抜群の気遣いができる運動スポーツ指導者になり活躍することを望んでいます。



男子バスケットボール部 リーグ戦全勝優勝! II 部昇格決定!

球技大会

H30.12.15～16



留学生交流会

H30.12.9



国家試験

H31.2.2



姫路キャンパス 学友会運営委員会

平成30年度 学友会リーダーズ研修会報告

●平成31年2月24日、25日(実施)

学友会運営委員会

米田奈央

平成30年は各地で大きな地震や西日本豪雨、大型台風の直撃など、自然災害の脅威を痛感した年となりました。

そこで今年のリーダーズ研修会はテーマを『備え』とし、淡路島へ行くことにしました。研修を通して防災への意識を高め、学内での避難訓練等に役立てていくという狙いがあります。

初日に訪れた北淡震災記念館では、阪神淡路大震災や東日本大震災と同じ大きさの揺れを実際に体験しました。揺れがくると分かっていてもとても怖く、足が震えました。

自然災害を完全に防ぐことは難しいですが、被害を少なくするためにできることはたくさんあると分かりました。災害時に発生し得る被害を最小化するための取り組みのことを「減災」と言うそうです。寮や大学に居る時に災害が起きた場合の身の守り方など、具体的に考えていく必要があると感じました。

研修会を通して全員と話ができるコミュニケーションがとれたので、学内での連携もとりやすくなると思います。事故なく無事終えることができたのでよかったです。とても楽しい研修会になりました。

7

大阪天王寺キャンパス
学友会運営委員会

2018年度 学友会活動



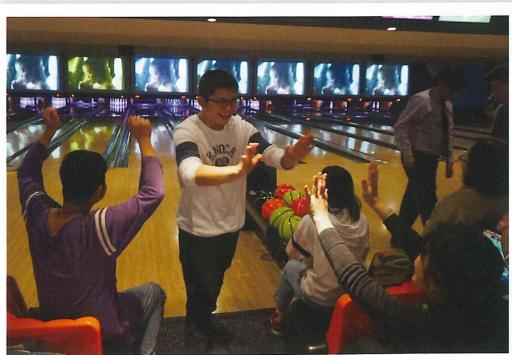
大阪天王寺キャンパス2018年度学友会会长グエン ティ フェンです。

前期は3月30日に新入生歓迎会、5月12日に奈良県のどか村でBBQ親睦会をしました。第3回ボーリング大会は、6月18日に開催予定でしたが、地震のため中止になりました。後期の11月13日に開催となりました。7月の七夕会ですが、台風の影響で電車が遅れたので学校に来るまでが大変でしたが、無事に実施することができました。

後期は、親睦会として12月9日にバス旅行をしました。朝10時出発し、明石焼作り、三ツ矢サイダー工場の見学、そして、神戸ベイクルーズと盛りだくさんでした。初めて船に乗ったので、とてもわくわくしました。工場見学では、学生たちは日本の技術はすばらしいなど感動していました。遊びながら社会知識を学べる1日旅行でした。

第2回運動会を1月6日に奈良県の体育館で行いました。リレー、ムカデ競走など、昨年をさらにバージョンアップさせた楽しい、想い出になる運動会でした。

今年は、天候の影響がありましたが、先生方、そして、学友会メンバーたちの努力と協力で1年の行事を無事終えることができました。



大阪天王寺キャンパス

学園祭



大阪天王寺キャンパスでは、10月27日に学園祭を開催しました。天気も晴れ、たくさんの学生や地域の方々にお越しいただき、とても盛り上がりました。

前日の準備の日、先生方、学友会メンバーそして学生たちが2階から7階まで、「日本風景」をテーマにして学内を飾りました。当日は7階がメインステージとなり10時から16時まで次々とイベントが行なわれていました。毎年来ていただいているセルロダンス、学生によるファッションショー、神福祭ダンス、カラオケなどを実施しました。今年設立されたダンス同好会がダンスを披露しました。4人のメンバーが踊り、とても盛り上がりました。

また、7階では、ネパール料理、中国料理、ベトナム料理、日本料理の屋台を出していました。どの屋台も本場の味が楽しめる屋台でした。5階はダンボール迷路、6階はお祭りの縁日をし、地域の方々、子どもたち、そして、学生たちも楽しんだ想い出の学園祭になりました。



実習体験記



●社会福祉学科
こども福祉コース
三宅 愛唯

保育実習から学んだこと

私は、保育所で20日間、児童養護施設で10日間の保育実習を行いました。保育所と児童養護施設では役割や対象年齢が異なり、同じ保育者という立場でも関わり方などが全く違い、多くの学びを得ることができました。

保育所実習では、一人ひとりに合わせた言葉掛けや目線など何気ない援助の中に様々な保育者の思いが込められていることを知り、今後の発達に繋がるようにという想いを持って関わりました。

施設実習では幼児から高校生までの各年齢での接し方に戸惑いました。職員の方から、子どもたちに無理に話しかけなくても実習生が側にいるだけで安心すること、構えず自分らしさを大切に寄り添っていくことの大切さを教えていただき、焦らずゆっくり寄り添うことも大切な関わりなのだと知りました。

実習を終えて、施設の役割や年齢が違っても共通することは、日々の援助の積み重ねが子どもたちの笑顔と成長に繋がり、その成長が保育者の原動力に繋がるのだと実感しました。保育所への就職も決まり、実習での学びと気づきを忘れず、子どもたちの成長を願える保育者となれるよう日々努力したいと思います。



●社会福祉学科
介護福祉コース
足立 準弥

ソーシャルワーク実習から学んだこと

今回の実習で、視野を広げることの重要性を学びました。実習の前半は、視野を広げることができておらず、児童と表面的にしか関われてなかったと感じ、実習の後半では、前半の反省を生かし、児童の「今」だけでなく「過去」にも目を向けました。児童一人ひとりの過去を知ることで、関わり方に幅が出てきて、様々な角度から児童を見ることが出来ました。

その結果、コミュニケーションも以前より図りやすくなり、今まであまり話すことのなかつた児童ともいい関係が築けるようになりました。また自分から障害のことを話してくれる児童もいました。視野を広げるということはこういうことなのかと身をもって知ることができました。

実習全体を振り返ると全体的に勉強不足だったと感じました。児童に対する知識や社会福祉士の役割などもっと理解していれば更によりよい実習になったと思います。事前学習は充分に取組んだつもりでしたが、まだまだ足りなかったと今振り返って思います。改めて事前準備の重要性を学びました。



●健康スポーツ
コミュニケーション学科
田村 智紀

教育実習を終えて

3週間の教育実習を終え、多くの経験を積むことができたと実感しています。自分が生徒であった時には気づかなかった先生方の思いや生徒一人ひとりへの対応を目の当たりにし、改めて教師という仕事の大変さ、素晴らしいことに気づくことができました。具体的には、毎時間の何気ない授業の裏側にも綿密な事前準備がなされ、生徒が理解しやすいように工夫が凝らされていることでした。また、教師は常に、自分の発言や行動に責任を持ち、生徒を導くことが大切なのだということを繰り返し教わりました。

教育実習を振り返ると、不甲斐ない自分を根気強くご指導いただいた先生方や生徒のみなさんに対し感謝の気持ちで一杯になります。本当にありがとうございました。今後もこの実習経験を糧に精進していきたいと思います。

後輩のみなさんも覚悟を持って教育実習に望んでください。きっとすばらしい出会いや経験が待っているはずです。実習が無事成功することをお祈りいたします。

就職体験記



●社会福祉学科
福祉心理コース

稻垣 敦哉

内定先

社)兵庫県社会
福祉事業団

私は、実習の関係で5月から就職活動を始めました。同じゼミの友人たちは、既に3月から就職活動をしているということを聞き、焦りが強くなりました。

5月中旬に、学内で就職フェアがあり、「自分の就職活動はここから始めるぞ」という意気込みで参加しました。そこで、複数の社会福祉法人の説明を受け、自分が進みたい道に一番近いと感じた内定先の採用試験を受けました。グループ討議試験などで苦労した部分はありましたが、内定を頂くことができました。

いざ就職活動となると、焦りを感じるかもしれません。しかし、自分のペースで焦らずに就職活動を行っていくことで、良い結果に繋がっていくのではと思います。ご健闘をお祈りします。



●社会福祉学科
医療福祉コース

安藤 佑姫

内定先

宮崎生協病院

私は、3月頃から、福祉の説明会、先生方などからお話を聞くなどして就活を始めました。気になる所には自ら足を運んで、直接話しを聞き、現場を感じることが大切だと思います。その中で私は、社会福祉士の募集をしていた地元の病院を選び、夏休みに、見学、面接、筆記試験、論文を経て内定をいただきました。就活をしていく中でたくさん悩むこともあります。しかし、行動することで、自分の考えが広がったり、素敵なお大人の方との出会いや、新しい発見があったりすると思うので、周りの方の力を借りながら、自分がしたいことを見極めて、妥協することなく頑張ってください。ご健闘をお祈りします。



●社会福祉学科
介護福祉コース

竹本 莉名

内定先

社会福祉法人
三幸福社会

私は、就職活動が解禁になった3月上旬に行われた合同説明会の参加が就職活動の始まりでした。

大学生活を過ごす内に、「将来、地域に密着した環境での福祉の仕事に就きたい」という思いが出てきていた為、就職活動では各施設がどのように地域と関わりを持っているのかを重視しつつ、インターンシップへの参加や見学等を経て、夏の実習が始まる前に内定を頂く事が出来ました。就職活動をする上で「どんな風に働きたいか」という事を考えながら行なうことが大切だと思います。また、4回生は卒論や国家試験対策等沢山やらなければいけないことがあると思います。「何事も早めに」という気持ちを持って自分が納得の行くような就職活動を頑張ってください!皆さんのご健闘をお祈りします!



●社会福祉学科
こども福祉コース

内久保 志帆

内定先

社会福祉法人
嵩見保育所

私は、3回生の3月から地元のハローワークや福祉人材サポートに行き、本格的に就職活動を始めました。自分に合った保育所を探していましたが、中学生の頃にボランティアとして行っていた保育所で働きたい気持ちが強まり、求人が出でていない中、園見学に伺わせて貰い、第一志望であることを伝えました。今年は求人を出す予定であるとのことで試験をして頂き、無事内定を頂くことが出来ました。求人が出でていないから諦めるのではなく、自分の働きたい意志を伝えることで良い方向にいくこともあるのだと感じました。

内定を頂くまでに就職課の先生方に履歴書の添削や面接練習などたくさんお世話になりました。在校生の皆さんも一人で悩むのではなくいろんな人からサポートやアドバイスを貰ってください。皆さんのご健闘を祈ります。



●経営福祉
ビジネス学科

オウ シリュウ

王 志竜

内定先

TOWA(株)

後輩のみなさん、就職活動は非常に忙しいので、3年生終了時までに十分に単位を修得しておいてください。そして、就職活動に一番大切なことは「自信を持つこと」です。たとえ苦しい時期があっても、あきらめずに自信を持って、自分が納得できるまで、精一杯頑張ってください。そして、問題が生じたときは、先生や先輩に相談することが一番有効だと思います。

就職活動は「個人戦」です。自分で決めて、自分で挑んで、そして自分で結果を受け止める「戦い」であることを意識しながら、「なりたい自分」に向けて、頑張ってください!



初代ふくさき観光大使に性全美穂さんが任命されました。

初代ふくさき観光大使に本学社会福祉学科2年生の性全美穂さんが任命されました。福崎町の良いところを、持ち前の「明るさ」「笑顔」「元気」で発信していってくださいね。



写真は神戸新聞2019.1.15

BCリーグ 福島県民球団「福島レッドホープス」への入団決定!



健康スポーツ
コミュニケーション学科
かねいた ゆうき

兼板 優貴

右投げ、右打ち
外野手



市川町ゴルフまつりPR大使

市川町ゴルフまつりPR大使に健康スポーツコミュニケーション学科3年生の奥野 瑞季さんと、桑原 清楓さんが選ばされました。第3回市川町ゴルフまつり「喜楽★喜楽GOLFフェス♪♪」(きらきらゴルフフェス)は、市川町が国産アイアンヘッド発祥の地であることのアピールと、市川町全体の活性化をめざして今年4月20日(土)実施されるイベントです。

おふたりともまだゴルフの経験はないとのことですが、持ち前の「明るさ」「笑顔」「元気」を發揮して地域活性化の力になってくださいね!

市川町は姫路キャンパスのある福崎町のお隣になります。



PR大使の左端が桑原さん、中央が奥野さん



平成31年度 後援会総会のお知らせ

日 時 平成31年6月15日(土)11:00~12:00

場 所 神戸医療福祉大学 姫路キャンパス

後援会新役員の依頼にあたって

神戸医療福祉大学では、毎年1年生の保護者の方へ後援会役員への就任をお願いしています。

その際、4月中旬から5月中旬にかけて、後援会事務局より保護者のご自宅へお電話することがありますので、悪しからずご了承ください。

卒業生の皆さんへ

平成30年度アルバム委員 からのお知らせ



卒業アルバムは後援会からの補助により卒業生全員に配布されます。

完成送付時期は平成31年8月ごろを予定しています。楽しみにお待ちください。



発行日：平成31年3月1日

発 行：神戸医療福祉大学後援会

事務局 学生課 ☎ 679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5

TEL (0790) 22-5125 FAX (0790) 22-6941 E-mail : gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp

HP : <http://www.kinwu.ac.jp/>